

しべつ川

No.293号

標津町教育委員会 生涯学習課 TEL 0153-82-2900

SHIBETSU



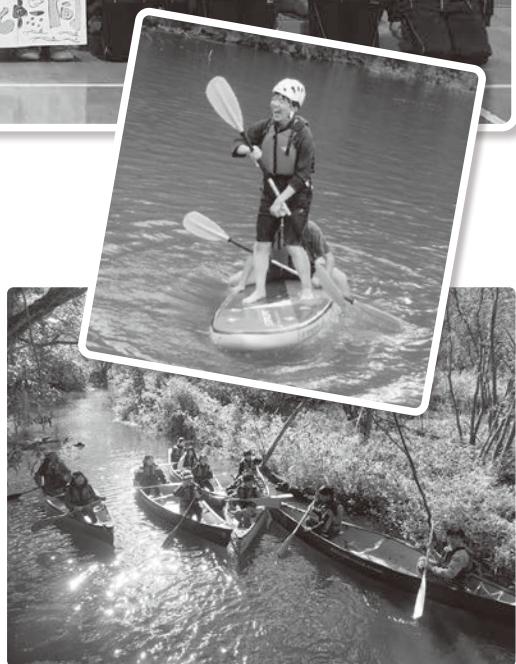
長野県 生坂村との交流



9月末、町内の中学3年生が合同修学旅行として生坂村を訪れ、その翌週には、生坂中の2年生5名が標津町を訪問。ホスト校の標津中2年生がそれぞれの思いを込めて描いた「ようこそ！標津町へ」の大看板で出迎えてくれました。交流会は3校の「学校紹介」のプレゼントでスタート。特に生坂の「坂の傾斜が大きくて自転車をこぐのが大変」という発表は、大受けでした。続いては3校が5グループに分かれて「紙コップdeアート」に挑戦。最初は個々で紙コップを重ねていましたが、次第に何気ない会話が生まれはじめ、やがて一体感のある紙コップアートが完成。とっても心温まる交流となりました。

翌日からは、川北・標津それぞれの有志17名が参加し、生坂中生と共に様々なアクティビティを堪能。サーモン科学館の見学から始まり、ポー川の散策とカヌー体験に新巻きづくり等にチャレンジしました。これまであすぱるで行っていた夕食交流会は、標津番屋に変更。ジンギスカンやチャンチャン焼きに大いに舌鼓を打ち、笑顔いっぱいの楽しい交流となりました。

最終日は野付湾クルーズとトドワラ散策、北方領土の映像鑑賞を行いました。昼食後の歓送会では、生坂中生一人一人が「貴重な体験ができてよかったです」「来年、生坂で会うのを楽しみに待ってます」等、名残惜しそうに語り、あすぱるを後にしました。見えなくなるまで手を振っていた生徒達は、来年の合同修学旅行で更に親交を深めてくれることと思います。



標津町の子どもたちの体力・運動能力について

全国の子どもの体力・運動能力・運動習慣等を把握するために、毎年実施している体力テスト調査結果の概要をお知らせします。標津町では全国調査対象の小5、中2だけではなく、全学年で実技テストを実施しています。

子どもの体力向上に向けて「体育の授業改革」「運動習慣の定着に向けた取組」等に生かす目的があります。全国調査結果は、12月下旬に公表しています。

1 体力テスト種目

テスト項目	運動能力評価	体力評価		運動特性	
50m走	走能力	スピード	すばやく移動する能力	すばやさ	力強さ
20mシャトルラン	走能力	全身持久力	運動を持続する能力	ねばり強さ	
立ち幅とび	跳躍能力	瞬発力	すばやく動き出す能力	力強さ	タイミングのよさ
ボール投げ 小：ソフト 中：ハンド	投球能力	巧緻性(器用さ)	運動を調整する能力	力強さ	タイミングのよさ
		瞬発力	すばやく動き出す能力		
握力		筋力	大きな力を出す能力	力強さ	
上体起こし		筋力	大きな力を出す能力	力強さ	ねばり強さ
		筋持久力	筋力を持続する能力		
長座体前屈		柔軟性	大きく関節を動かす能力	体の柔らかさ	
反復横とび		敏捷性	すばやい動作を繰り返す能力	すばやさ	タイミングのよさ

◆20mシャトルランとは？

電子音に合わせて20m先の線に向けて走り出し、線を踏み越し、向きを変えます。次の電子音に合わせて走り出し、スタート地点側の線を踏み越し、これを繰り返します。1分毎に電子音の間隔が短くなり、線に触れた回数が記録になります。

2 体力テスト評価一覧

種目	男 子							女 子										
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立幅とび	ボール投げ	総合評価	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立幅とび	ボール投げ	総合評価
小1 令和6	△	△		△	◎			○	C	○	○		○	△			○	C
	△	△			◎			△	◎	B		△	○	○		○	○	B
小2 令和6	△	×		○	○				C	×	×	△		×	△			C
	○		○	○	○	△		×	B		○	○	○	○		○	○	B
小3 令和6	○	○	×	○	○			○	B	○	×	△	○				○	C
	×	△	○	○	○			×	C		×	○	○	○			○	C
小4 令和6			△	○				○	C		○	△	○	○			○	B
	○			○	○			○	B	○	○	○			△		○	C
小5 令和6	○	○	×		○			○	C	○	○	×	○	○			○	B
	○	○		○	○			○	C	○	○	○	○	○		○	○	B
小6 令和6	○	△	×		×	×	×	C	○		×		○	△	△	○	○	C
	○	×			△	△		○	C	○	○		○			○	○	B
中1 令和6	○	○						C	○	○	○	○	△	○			○	B
	○				×	×	×	C							△	×	○	B
中2 令和6	○	○	△	○	○	○	○	○	B	○	△	△		×				C
	○	○	○	○	○	○	○	B		○	○	○	○			○	○	B
中3 令和6	○	○			○			B						×		△		C
	○	○	△		×			C		×	×	△	×	△	×	△	×	C

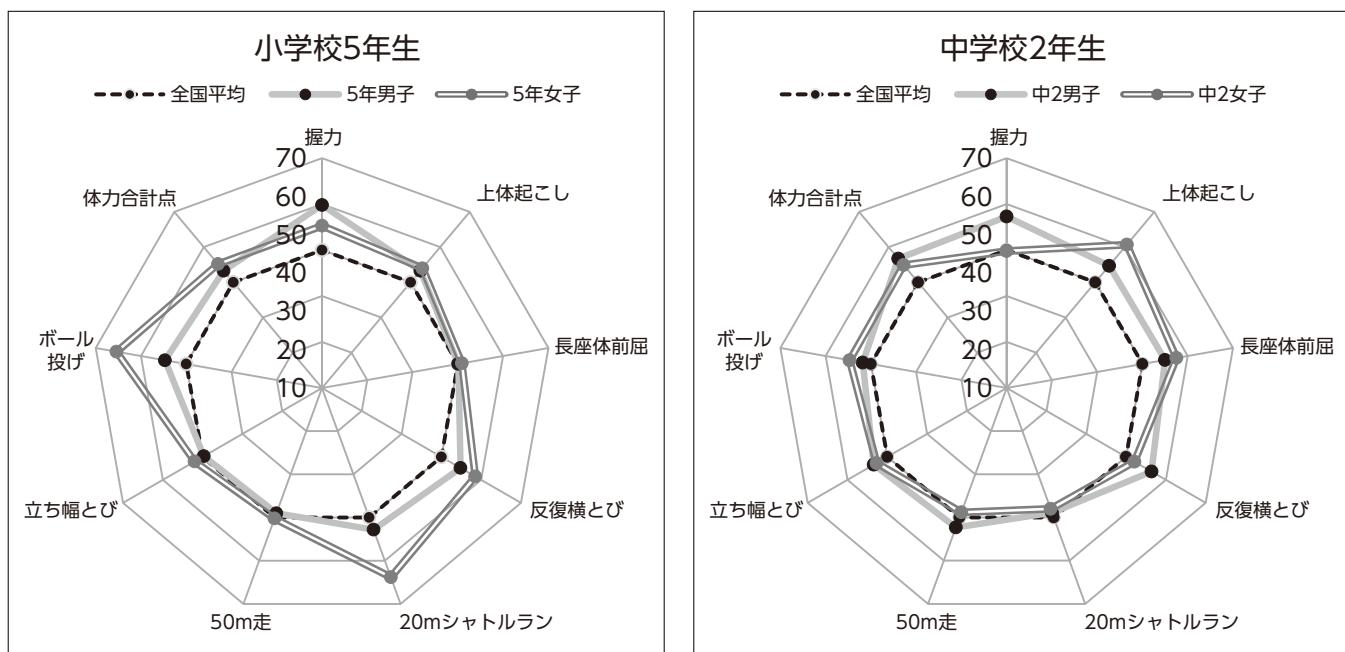
※全国平均値との比較です。 ◎：かなり上回っている ○：上回っている 空欄：同等 △：下回っている ×：かなり下回っている

※総合評価は、年齢別・男女共通・A～Eの5段階評価です。参考として令和6年度の調査評価を記載しています。

3 小学校5年生と中学校2年生の結果について

令和6年度の全国平均値を50として、令和7年度の結果を表したグラフです。

小5男女、中2男女、共に全国平均値を上回る種目が多い結果でした。



4 まとめ

(1) 小学生全体について

- 男女共に、握力、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、ボール投げが優れています。
- 例年の課題だった長座体前屈(柔軟性)が向上しました。上体起こしと50m走に若干課題が見られます。
- 総合評価では、2・4年男子、1・2・5・6年女子が優れています。
- 小学生は、筋力、柔軟性、敏捷性、全身持久力、投球能力が高く、走能力の向上が課題です。

(2) 中学生全体について

- 男子は、握力、上体起こし、反復横跳びが優れ、20mシャトルランに課題があります。
- 女子は、ボール投げが優れ、50m走、立ち幅跳びに課題があります。
- 総合評価では、2年男子、1・2年女子が優れています。1年男子、3年女子に課題があります。
- 中学生は、男子が筋力、敏捷性が高く、全身持久力に課題があります。女子は走能力、瞬発力に課題があります。

(3) 今後の取組

- 学校では、子ども一人一人の体力差を認め、「個別最適な体力づくりの課題」を各自で考え、主体的に運動に取り組む指導、また、友達と一緒に運動する「協働的な体力づくり」を行い、助け合い、励まし合いながら、運動技能を伸ばす指導を行います。
- 保健体育の授業では、健康で安全な生活を送るための身体づくりを課題として、自ら運動の意義や目的を理解するように指導します。

(4) アドバイス

- 「全身持久力」を高める運動は、縄跳び、ランニング、水泳等です。心肺機能が向上する子どもの時期に行うことに意味があります。運動パフォーマンスが向上し、肥満予防、健康維持に役立ちます。
- 「走能力」は、適切なフォームの習得、体幹の強化、柔軟性による可動域増加、リズム感を養うことなどを、発達段階に応じて楽しみながら行うことで向上します。
- 日常生活での適度な運動は、体力向上や健康増進だけではなく、脳の活性化を促し、学力向上にもつながります。また「やる気」「集中力」「ねばり強さ」等の心の動きが高まります。
- 運動系の部活動や少年団、運動イベントの参加、友達との外遊び、家族で一緒に行う手軽な運動や遊び、適切な食生活や生活規律等で、心身共に「たくましく生きる子ども」を育てましょう。

子どもたちの生活習慣を改善しましょう!



標準町生徒指導連絡協議会（令和7年度標準中学校事務局）は、毎年9月に「標準町の子どもの生活習慣に関するアンケート」を実施しています。

この調査の分析結果を園や学校の生活指導に生かし、家庭との連携を図って改善に努めています。

調査対象は、こども園4歳児から標準高校3年生までで、有効回答数は最大472名です。なお低年齢児は、保護者に回答していただいている。

1 基本的な生活習慣について

全体的に、概ね規則正しい生活習慣が身に付いています。

家庭では、これからも「早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き」を自主的に実行できる子育てをお願いします。

(1) 起床時刻について

- 「朝7時までに起床」する子どもは78%でした。
- 「朝7時半以降に起床」する子どもは小学校高学年、中学生、高校生で24人いました。

(2) 起床方法について

- 「自然に起床」が35%、「目覚まし時計等」が30%で、自力起床の合計は65%でした。
- 「起こしてもらう」子どもは35%で、園児、小学生が多い傾向でした。

(3) 就寝時刻について

- 園児は10時まで、小学生は11時までにほとんどの子どもが就寝すると回答しました。
- 中2から就寝時刻が遅くなり、12時以降が44人いました。

(4) 起床就寝の習慣について

- 「大体同じ時刻に起床就寝する」子どもは85%でした。
- 小4の35%、小5、中2の25%が「ばらばら（不規則）」と回答しました。

(5) 朝食の様子について

- 「毎日食べる」子どもは86%でした。
- 「朝食を食べない」子どもが21人いました。
理由は「朝食がない」「時間がない」「起きれない」「食欲がない」「面倒くさい」「朝昼兼用」「体調不良」「用意しても食べない」等でした。

(6) 歯磨きの回数について

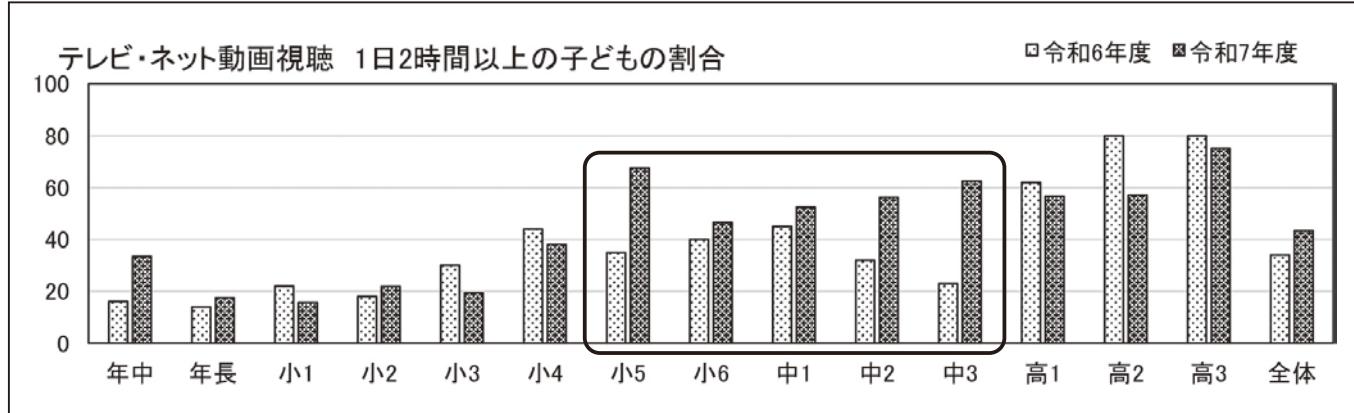
- 「食後必ず磨く」が35%、「食後2回」が56%でした。
- 「食後1回」の子どもが37人、「磨かない」子どもが5人いました。

2 家庭での時間の使い方について

メディア使用、ゲーム、外遊び、運動が子どもの家庭生活時間の大部分を占めています。そのため家庭学習時間が減少しています。自ら学ぶ習慣を身に付けるために、家庭学習時間の確保が必要です。

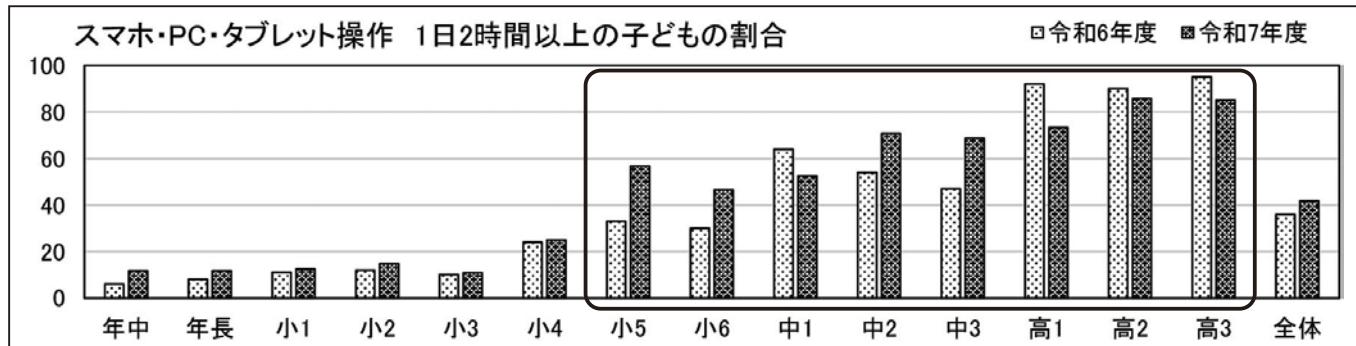
(1) テレビ・ネット動画等の映像視聴時間について

- ・「1日2時間以上」の子どもは43%でした。
- ・「1日4時間以上」の子どもが79人いました。小5から中3の視聴時間が昨年よりも増加しています。



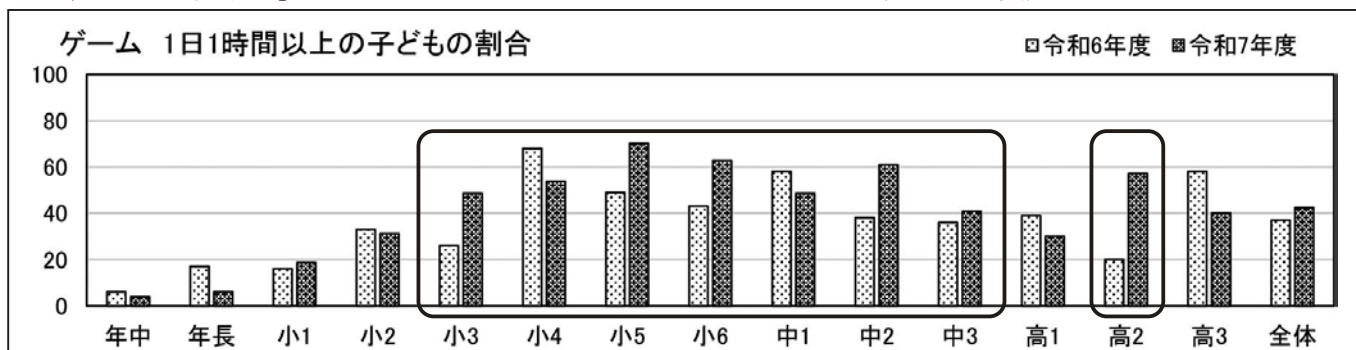
(2) スマホ・PC・タブレットの使用時間について

- ・「1日2時間以上」の子どもは42%でした。
- ・「1日4時間以上」の子どもが83人いました。学年が上がるにつれて増加しています。



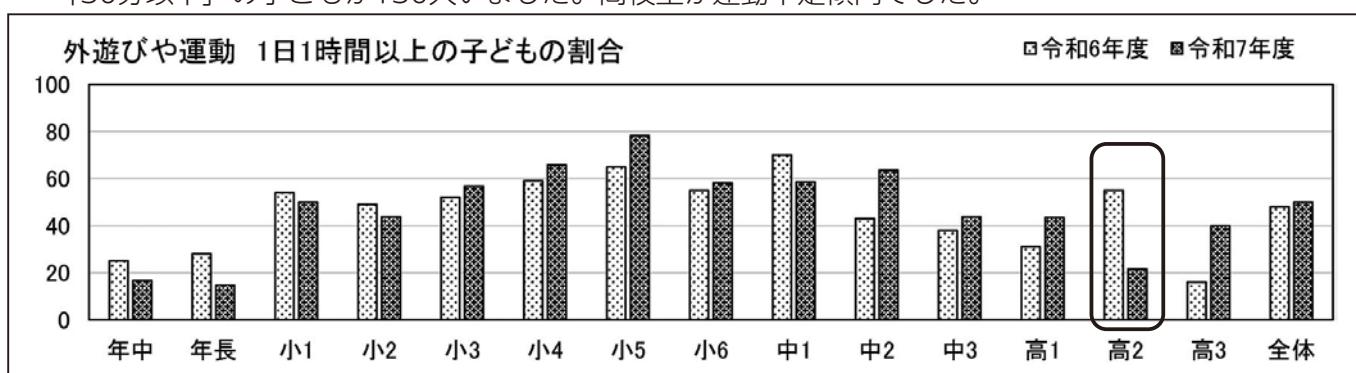
(3) ゲーム時間について

- ・「1日1時間以上」の子どもは42%でした。
- ・「1日4時間以上」の子どもが47人いました。小学生のゲーム時間が長い傾向でした。



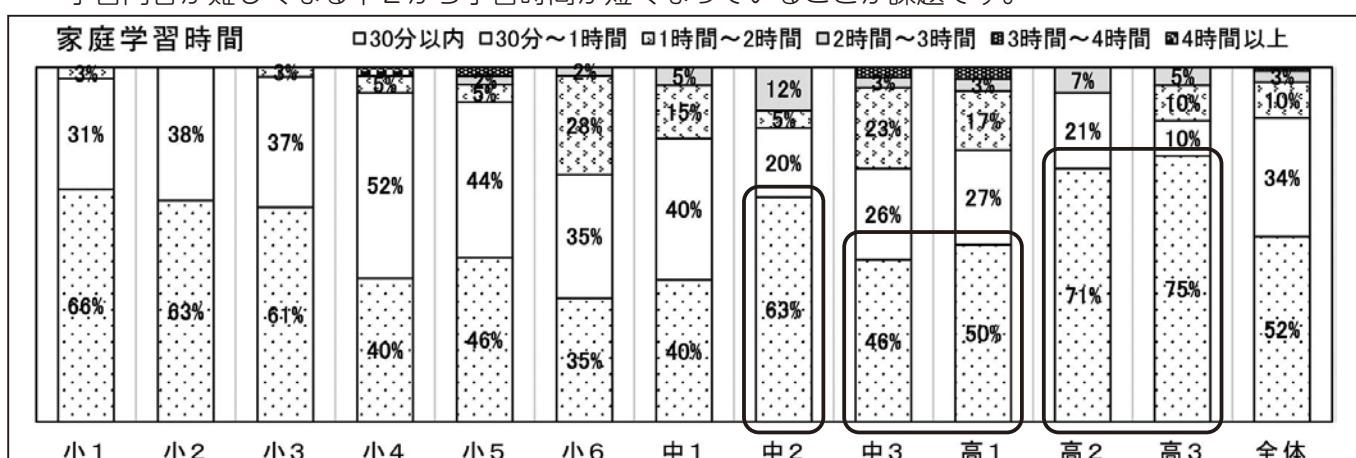
(4) 外遊びや運動の時間について（部活動・少年団活動を含む）

- ・「1日1時間以上」の子どもは50%でした。
- ・「30分以下」の子どもが130人いました。高校生が運動不足傾向でした。



(5) 家庭学習時間について

- ・1日1時間以上の家庭学習が理想ですが、30分以内の子どもが増加しています。
- ・学習内容が難しくなる中2から学習時間が短くなっていることが課題です。



3 メディア機器について

(1) メディア機器の所持率について

	スマートフォン		パソコン		タブレット		ゲーム機	
	自分用	共用	自分用	共用	自分用	共用	自分用	共用
こども園	14%	31%	0%	13%	32%	36%	24%	42%
小・低学年	14%	22%	0%	13%	14%	46%	36%	52%
小・中学年	27%	31%	12%	17%	23%	29%	58%	34%
小・高学年	68%	11%	5%	24%	28%	24%	66%	29%
中学1年	80%	8%	0%	40%	15%	35%	73%	25%
中学2年	97%	0%	18%	33%	28%	18%	73%	17%
中学3年	91%	0%	3%	46%	24%	24%	53%	40%
高校1年	100%	0%	20%	20%	23%	7%	77%	10%
高校2年	100%	0%	36%	14%	21%	0%	71%	21%
高校3年	100%	0%	5%	15%	30%	15%	70%	25%
町全体	自分用58%(251/431人)		自分用7%(29/441人)		自分用23%(103/443人)		自分用57%(258/451人)	
令和6年度	58%		24%		45%		81%	

(2) SNS利用状況（複数回答）

順位	SNSの種類	傾向	人数
1位	YouTube	全体的に多い	400
2位	LINE	小4以上が多い	219
3位	オンラインゲーム	小3以上が多い	208
4位	Tik Tok	小4以上が多い	175
5位	サブスク動画視聴	中1以上が多い	133
6位	Instagram	中・高が多い	128
7位	家庭学習	小・中が多い	114
8位	X(旧Twitter)	中・高が多い	82

(3) 家庭利用のルール（複数回答）

順位	ルールの内容	傾向	人数
1位	利用時間を決める	園・小が多い	181
2位	個人情報を出さない	全体的に多い	142
3位	知らない人とは交流しない	小・中が多い	121
4位	利用前にすることを決める	小が多い	107
5位	利用時刻を決める	小が多い	99
番外	決めていない	中・高が多い	133
記述	親の同意を得る。怪しいサイトは開かない。 50分やったら10分休む。平日はゲーム禁止。		

(4) ネットの出来事（4年生以上複数回答）

順位	設問	傾向	人数
1位	知らない人と仲良くなった	全体的に多い	90
2位	友達や親戚とケンカをした	小が多い	18
3位	知らない人に相談にのってもらった	小・高が多い	13
4位	知らない人とケンカをした	小・中が多い	10
5位	知らない人に個人情報を聞かれた	学年に1人	9
6位	学校や生活でトラブルが続いた	小が5人	6

(5) 危険と感じた経験や気をついていること

- ◆個人情報を聞かれたり、簡単に個人情報が抜かれて流出すること。知らない人から連絡が来てフレンド申請されること。同年代のふりをする人がいること。全裸の写真を要求されること。卑猥な写真が送られること。
- ◆ゲームやラインでケンカになること。言葉遣いが悪くなること。匿名で誹謗中傷されること。
- ◆YouTubeなどの誤情報を思い込むこと。無料広告をクリックすること。危ないサイトに入ること。
- ◆情報がすぐに広まってしまうこと。バグ（ソフトウェアの欠陥）があること。強制的に改造を受けうことになること。

4 まとめ

家庭教育は、すべての教育の出発点です。

今回の調査で明らかになった課題を、家庭と学校、地域社会が連携、協力して、子どもの基本的な生活習慣を確立し、メディア社会に対応できる倫理観、自律心を育てていきましょう。

- ・スマホは、小学校高学年から増加し、中高生のほとんどが所持しています。
- ・パソコン、タブレットは、スマホで用途がまかなえるため所持率が低くなっています。また、学校から個人用タブレットが貸与された影響もあります。
- ・ゲーム機は、共用を含めると95%の所持率で、子どもの遊びの中心になっています。
- ・SNS利用状況は、動画視聴が増加しています。「家庭学習」の利用は、小中学生が大部分です。
- ・家庭利用のルールを「決めていない」回答は、園児を除くと123人でした。小学生の14%、中学生の26%、高校生の52%がルールなく使用しています。
- ・ネットは「人と仲良くなれる」利点があり、上手に使いこなせばとても便利で楽しいものです。ケンカやトラブルを回避する方法を保護者の責任において指導し、ルールとマナーを教えて活用させることが大切です。
- ・ネット使用の危険性を理解している子どもが増加しています。
- ・「生成AI」の活用が始まっています。その便利さにより、学びの補助ツールとして重宝されています。自分の考えや判断が重要なことを子どもに認識させ、不適切な行為につなげないように指導しています。
- ・ネット活用の諸課題解決には、子どもの自己制御力、懐疑心、想像力、判断力が必要です。
- ・トラブルを未然に防ぐために、家庭での毅然とした指導をお願いします。



標津町中学生弁論発表大会

標津町教育研究所主催の中学生弁論発表大会が、11月5日に開催される予定でしたが、インフルエンザの流行により大会は中止され、書類審査に切り替えられました。

以下、最優秀賞に輝いた川北中学校2年生 水口 樹さんの原稿を紹介します。

「僕が育てた羊を食べた日」

川北中学校 2年 水口 樹

皆さんは「いただきます」という言葉の意味を考えたことはありますか？

僕は小学6年生の時、初めて自分が育てた羊をお肉にして食べました。命を育て、そして命をいただく。それは僕にとって大きな経験でした。

今日は、その時に感じたこと、「命をいただく」ことの意味について話していきたいと思います。

僕が羊を育てるようになったのは、母が、羊を沢山飼っている人と知り合い、その方から羊を連れてきたことがきっかけでした。

小さいころから草を沢山食べさせ、朝と夕方には、より太らせるための濃厚飼料を毎日欠かさず与えました。大雨の日も風が強い日も、僕は毎日世話をし続けました。羊たちは、毎日世話をするうちに、僕にとってかけがえのない存在になっていきました。

でも、ある時母が言いました。「この羊は、最後にお肉になるのよ」と。

最初は信じられませんでした。「可哀想に」「そんなことできない」と心の中で何度も思いました。

でも、スーパーで売られているお肉を見ると、「それが現実なのだ」とだんだん実感するようになっていきました。

太った羊を見ていると「どんな味がするのだろう」という気持ちも生まれてきました。「命をいただく」とはどういうことなのか。僕の心の中では、さまざまな思いがぶつかり合っていました。そんなことを考えているうちに、ついに羊がお肉になる日がやってきました。

その日は静かで、羊はいつもと変わらない顔をしています。僕は最後の濃厚飼料を与えました。

羊は、肉になることなど知らずに、いつも通りたくさん食べていました。

僕の胸には、悲しみがどんどんこみ上げてま

した。そしていよいよ、羊はトラックに積まれて出発しました。羊は、僕のことをずっと見つめていました。僕は、段々羊を見るのが辛くなりましたが、最後まで見送りました。

しばらくして、肉となった羊が家に届きました。それを見た瞬間、羊との思い出がよみがえり、とても悲しくなりました。でも同時に、「とても美味しそうだな」という気持ちも出てきました。

実際に食べてみると、最初はとても食べづらかったです。でも、「せっかく命をくれた羊に失礼だ」と思い、肉を食べました。今まで食べたどの羊肉よりもおいしいと思いました。同時に、「ありがとう」という気持ちがあふれてきました。

僕は思いました。「いただきます」ってこういうことなんだ、と。この経験をきっかけに僕はこう考えるようになりました。僕たちは、「命をいただいて生きている」だからこそ、少しでも多くの人に美味しく食べもらうことが、その動物に対する礼儀なのではないか、と。

その後、僕は自分の羊のお肉を食べてもらうために「謝肉祭」を開きました。昼から夜まで、ひたすらお肉を焼き、切り続けました。お客様からは「こんなおいしい羊肉食べたことないよ」と声をかけてもらいました。

さらに、家族と協力して、お肉をインターネットでも販売しました。すると、あっという間に完売してしまいました。自分の育てた羊肉の美味しさを、他の人に伝えることができた。そう思って、僕はとてもうれしくなりました。そしてまた改めて思いました。「ありがとう」と。

僕たちは命をいただいて生活しています。スーパーで売られているお肉の向こう側にも、必ず命があります。命をいただいて、自分が生きている、だからこそ、感謝しなければならないのです。

命に向き合ったこの経験は、僕にとって一生忘れられないものになりました。

そして今日も僕は言います。
「いただきます」



小中高のリーダーが 「いじめ」について協議！

とき：令和7年12月13日(土)

ところ：標津町生涯学習センター

あすぱる 多目的ホール

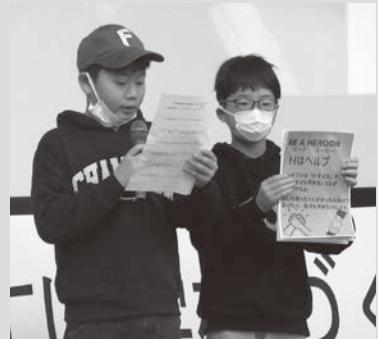
1月13日(土)、町内小中高校生の児童生徒会の役員21名が集い、「すごしやすい学校づくりリーダー会議」を開催しました。これは、それぞれの学校のリーダーが「いじめの問題を自分ごととして捉え、考え、議論し、真にすごしやすい学校づくりへの具体的な行動に繋げる」ことを目的として毎年開催しています。

お願いしていたフリーアナウンサーの新保さんですが、残念ながら体調不良により当日の講話をしていただくことが叶わなくなりました。そんな状況の中でしたが、「BE A HEROプロジェクト事務局」のプレゼン資料を活用しながら、「傍観者」など、「いじめの構造」や「思春期の不安定な脳」について学んだ後、小中高生が混ざった5つの班に分かれ、4つのエピソードについて協議。最後は学校ごとで作戦会議をした後、それぞれの「行動宣言」を発表してくれました。

「HERO」とは、「Help: 人を助けるだけではなく、適切にSOSを出して助けてもらう」「Empathy: 相手の気持ちに共感する」「Respect: 自分と同じぐらい相手を尊重する」「Open-Mind: 広い心をもつ」の頭文字をとったもので、正しい行動をとってカッコいい姿を貫き、本物のヒーローになろう！という運動です。

学びを受けて考えた各校の行動宣言

- 標津高：BE A HEROを実践し、悪いことを正当化しない空気感
- 標津中：自分がHEROとなり、学校みんなに広げていく
- 標津小：誰かが発表した時に反応するよう全校に伝える（共感）
- 川北中：誰をも尊重し、助け合う
- 川北小：助けを求め、尊重し合おう！



子ども達だけではなく、大人の世界にも「アンバランス・パワー」は存在し、「シンキング・エラー」は誰にでも起こります。将来の社会を担う子ども達が安心して生活できる環境づくりだけではなく、私達一人一人が上記「H・E・R・O」の4つを意識しながら半径5メートルを少しでも明るくしていきたいものです。

としょぱる内 書架配置リニューアル

としょぱるの書架配置リニューアルに伴い、以下の期間で作業を実施します。作業期間中、開館および閲覧は原則通常どおり予定しております。また、貸出等の窓口対応をあすぱる事務所で行うことがありますのでご了承ください。

作業予定期間

令和8年2月17日(火)～2月27日(金)

標津っ子のやくそく冬

冬休み期間中の帰宅時間や生活のルールを家族で確認しましょう。

- 詳細は右のコードからどうぞ
- 児童生徒へは学校より配布いたします



令和8年 標津町二十歳のつどい

町では、令和8年標津町二十歳のつどいを下記のとおり開催します。

対象者は、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれで、本町に在籍する方及び本人が本町の二十歳のつどいに参加を希望する方です。

●日 時：令和8年1月7日(水) 13:00から15:00まで

●場 所：標津町生涯学習センター あすぱる

※本町に在籍する方及び事前にご連絡をいただいた方には9月中旬に案内状を送付しています。



新春 書き初め会

新年の恒例行事「新春書き初め会」を次のとおり開催します。参加申込み方法など、詳しくは12月中旬に各園学校を通じて配布されたチラシをご覧ください。

●日にち：令和8年1月9日(金)

●場 所：標津町生涯学習センター あすぱる

※川北地区の参加者については、事務局で送迎いたします。

●対 象：幼児～中学3年生



入場無料

しべつ冬のはるまつり

～科学実験と影絵劇を楽しもう！～

入場無料

町教育委員会では北海道教育大学釧路校・標津高校と連携し、次の日程で「しべつ冬のはるまつり」を開催します。

今年も大学生と高校生の皆さんがいろいろなブースに分かれて、科学実験を楽しく体験させてくれたり、影絵劇なども行います。図書館カフェリブロも開催いたしますので、ご家族ご友人をお誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

●日 程：令和8年1月24日(土)
10時～12時

●会 場：標津町生涯学習センター あすぱる

●対 象：町内の園児・小中学生
※園児は保護者同伴に限ります

●申込み：12月中旬に各園各学校を通じて配布されるチラシをご覧ください



★問合先：町生涯学習センターあすぱる (☎82-2900)

イベント情報

1~3月分



事業・行事名	期日	時間	対象	会場
標津町二十歳のつどい	1/7	13:00	二十歳	あすぱる
新春書き初め会	1/9		園小中	あすぱる
冬のあいさつ運動	1/16~19	7:30	小中校	各学校前
スポーツ体験教室	1/19・26、2/2・16、3/2・9	15:45	小中学生	総合体育館
大菅小百合氏「夢の教室」	1/20	10:00	標津中2年	標津中学校
スポーツゲームスイン標準「大菅小百合氏スケート実技講習会」	1/20	16:30	小中学生	町営リンク
子ども元気アップ大作戦	1/20・26、2/12、3/2・10	9:30	園児	標津こども園
子ども元気アップ大作戦	1/21・27、2/24、3/6・11	9:30	園児	川北こども園
しべつ冬のぱるまつり	1/24	10:00	園小中	あすぱる
ブックリサイクルフェア(ぱるまつり内)	1/24	9:00	一般	としょぱる
としょかんカフェリブロ	1/24、2/16、3/2	10:30	一般	としょぱる
リラックス・ヨガ	1/24	10:00	一般	川生涯学習センター
新春標準カップ小学生バレーボール大会	1/24	9:00	小学生	総合体育館
第22回道東小中学生距離別スケート選手権大会	1/24	10:00	小中学生	町営リンク
第22回標準オープン卓球フェスティバル	1/25	9:00	小中高一般	総合体育館
コアパワーヨガ	2/3・10	19:30	一般	川生涯学習センター
第52回標準スプリント大会兼大菅小百合記念大会	2/8	10:00	小中学生	町営リンク
管内中学生学年別卓球大会	2/11	9:00	中学生	総合体育館
スポーツゲームスイン標準「卓球講習会」	2/14・15	9:00	小中高一般	総合体育館
スキー場まつり	2/15	10:00	幼小中高一般	金山スキー場
スポーツゲームスイン標準 森田弘美氏「バレーボール教室」	2/18	16:00	小中学生	川北体育館
防犯高齢者レクリエーションの集い	2/19	9:30	65歳以上	あすぱる
森田弘美氏「子ども元気アップ大作戦」	2/19	10:00	園児	総合体育館
少年活動リーダー研修会	3/25・26	一泊二日	川北小5年生	川生涯学習センター

募集

「よむよむ☆ママさん隊」

絵本を読み聞かせるボランティアの会です。

絵本の好きな方、子どもの方、お気軽に見学してみませんか?



- 標準小学校…毎週水曜日 8:10~8:25
- 標準中学校…隔週 8:15~8:30

募集

カフェリブロボランティア

町図書館としょぱるで「図書館カフェリブロ」のスタッフを募集します。飲み物の提供対応やテーマに合わせた本の展示作業など行います。



- 毎月1回、月曜日 10:30~15:00
- としょぱるカフェスペース(あすぱる内)